

## 平成27年度第2期えるのす連続講座～女性大学～

### 社会とつながり、心豊かに 開催結果の概要

月日	演題	講師
9/29 (火)	医療、福祉、文化と子ども	札幌医科大学医療人育成センター 教養教育研究部門 准教授 道信良子
10/6 (火)	教育における男女共同参画政策と キャンパス・ハラスメント防止委員会	北海道ジェンダー研究会 川名早苗
10/13 (火)	エゾシカの現状と今後	一般社団法人エゾシカ協会 専務理事 井田宏之
10/20 (火)	雲・雨・雪からたどる地球温暖化	北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授 山中康裕
10/27 (火)	光輝高齢者を目指して“転ばぬ先の杖”	北海道医療大学看護福祉学部看護学科 教授 山田律子
11/4 (水)	私の老後は私が守る	弁護士 小林由紀
11/9 (月)	地球が抱える問題に環境経済学ができること	北星学園大学経済学部経済学科 准教授 野原克仁
11/17 (火)	中央アジアから見る世界情勢	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授 宇山智彦
11/24 (火)	源氏物語—野宮の別れの場面を読む—	北海学園大学人文学部日本文化学科 准教授 井野葉子
12/1 (火)	現在（いま）を知る	北海道新聞社 論説委員 貴志雅之

平成27年9月29日（火）

#### 医療、福祉、文化と子ども

札幌医科大学医療人育成センター教養教育研究部門 准教授 道信良子

医療、福祉、文化はそれぞれ、子どものいのちを守り育む、社会の営みです。人間はどの社会でも、「子どもがよりよく生きられるように」との願いから、さまざまな子育てや医療の仕組みを作り上げてきました。そこには本来境界はないのですが、社会が複雑になるにつれ、医療と福祉が日常生活から切り離され、専門家による個別の営みとして取り扱われるようになりました。講義では、いま一度、医療と福祉を人々の生活の中にしつかりと位置づけ、日常の暮らし（文化）の中に包摂していくことが大切であるとお話いただき、いのちを守り育むことの意味について考えました。



平成27年10月6日（火）

#### 教育における男女共同参画政策とキャンパス・ハラスメント防止委員会 北海道ジェンダー研究会 川名早苗

高度成長期、性別特性重視の人材育成が行なわれてきましたが、多様化、複雑化した現代社会への対応の必要性から、学校教育にもジェンダーの視点が導入されるようになりました。講義では、中学、高校での家庭科の男女共修や、男女混合名簿を取り上げながら、ジェンダーが教育にどのような影響を与えてきたかについて考えました。また、キャンパス・セクシュアル・ハラスメント防止委員会の機能と課題、北海道の現状についてもお話いただき、大学での男女共同参画政策について考えました。



平成27年10月13日（火）

### エゾシカの現状と今後

一般社団法人エゾシカ協会 専務理事 井田宏之

年間50億円を超す農林業への被害、交通事故や列車遅延も多発。繁殖力の強いエゾシカの生息地域は全道に広がり、深刻な被害が社会問題の様相を呈しています。エゾシカは駆除対象でしかない害獣なのでしょうか。講義では、エゾシカの生態やその興亡の歴史などをお話いただくとともに、エゾシカの肉が鉄分を豊富に含む優良食材であることや、皮革利用の可能性についてもお話いただき、エゾシカの現状と今後について考えました。



平成27年10月20日（火）

### 雲・雨・雪からたどる地球温暖化

北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授 山中康裕

空に見える虹や太陽柱は、大気中の水滴や氷晶（雲や霧など）によっておこる大気光学現象の一種です。講義では、写真を見ながら札幌の空に見られる雲や雪について、また、雲の持つ重要な役割である水循環について解説いただき、現在の地球では水循環と日射・赤外線による熱の流れが綱引きのようにバランスをとっているとお話いただきました。また、札幌の降雪量や平均気温の変化を見ながら地球温暖化について考えるとともに、北海道と地球の将来のためにすべきことについてもお話いただきました。



平成27年10月27日（火）

### 光輝高齢者を目指して“転ばぬ先の杖”

北海道医療大学看護福祉学部看護学科 教授 山田律子

光輝く老年期を過ごすためにも、加齢に伴う“からだ”と“心”の変化の特徴を知ることは大切です。講義では、骨折・転倒は要介護の原因となりうる。転ばない生活環境と、運動や栄養に気をつけ、転んでも骨折しない「からだ」をつくるのが大切とお話いただきました。また、身近な病となりつつある認知症についても、予防するポイントや認知症になっても自分らしく暮らすための「脳」の使い方などについてお話いただき、老いに備えた身近な生活環境の工夫について考えました。



平成27年11月4日（水）

### 私の老後は私が守る

弁護士 小林由紀

お金、健康、孤独…誰でも「老後」は心配です。その不安や孤独感、親切心につけこみ、老後の資金を騙し取ろうとする悪質業者による詐欺や悪徳商法は無くなる気配をみせず、弁護士や警察官も登場する「劇場型」の詐欺が流行しています。講義では、騙されやすい人間の心理学についてお話いただくとともに、特殊詐欺の実態や特定商取引法、成年後見制度についても説明いただき、大切な年金や貯金を奪われないよう、自分の老後を守る知恵と心構えについて考えました。



平成27年11月9日（月）



### 地球が抱える問題に環境経済学ができること

北星学園大学経済学部経済学科 准教授 野原克仁

普段の生活で地球のことを思いやっていますか？今この瞬間も地球は破壊されています。講義では、環境経済学という学問について紹介いただくとともに、多くの問題が複雑に絡み合って形成されている地球環境問題について、「地球温暖化」「オゾン層の破壊」「生物多様性の減少」を取り上げ解説いただきました。そして、環境問題の実害を被るのは私たちだけではなく、将来世代にまでわたる。持続可能な社会を考えることが大切とお話いただき、環境問題に立ち向かうための“術”を実例を交えて紹介いただきました。

平成27年11月17日（火）

### 中央アジアから見る世界情勢

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授 宇山智彦

ロシアと中国に隣接するイスラーム地域である中央アジア。定住民と遊牧民が混在する歴史に共産圏を築いたロシアの文化が加わり、その一方でイスラームを中心とするさまざまな宗教・民族意識も交差する多様な地域です。講義では、中央アジアの概略について説明いただくとともに、中央アジアにロシア・ウクライナ紛争、中国の台頭、中東情勢の混迷が与える影響や、日本とこの地域との知られざる関係、また、中央アジアを通して見える諸大国の特徴についても解説いただきました。



平成27年11月24日（火）

### 源氏物語—野宮の別れの場面を読む—

北海学園大学人文学部日本文化学科 准教授 井野葉子

紫式部によって平安時代に成立した世界最古の長編物語のひとつである源氏物語。美麗貴族、光源氏の恋愛をめぐる人生模様と女人の生きざまが緻密に描かれています。講義では、賢木巻の冒頭を取り上げ、文章の中で使用されている呼称や引歌表現に注目しながら、秋の野宮を舞台に、伊勢下向が迫る六条御息所と、彼女のもとへ最後の対面に訪れる光源氏、紆余曲折を経た二人が最後は美しく別れていく源氏物語屈指の名場面を読みました。



平成27年12月1日（火）

### 現在（いま）を知る

北海道新聞社論説委員 貴志雅之

中国が新たな市場開拓を目指す経済圏構想「一帯一路」。経済成長に減速がみえ、海外に目を向けている中国にとっても、イスラーム国は経済活動の障害となる存在です。講義では、2001年のアメリカ同時多発テロ事件と先月発生したパリ同時多発テロ事件を取り上げ、その背景について考えるとともに、イスラーム国に関して、壊滅を目指すにも実際には各国の思惑が絡み合い複雑な構図があることや、根本的解決を考える必要性などについてお話いただき、最近の国際問題、テロ問題について考えました。

